

(7) 新野幌土地区画整理事業

本地区は、国道12号と道立野幌森林公園に挟まれ大麻駅から南西約1kmに位置し、主に畑作農地として利用されてきたが、複数の大学及び予定地を抱えた文教地区としての形態を備えた地区でもあった。

このような状況のなか、国鉄(JR)函館本線を挟んだ北側に北海道により造成された大麻団地が急激な人口増加の傾向を示し、本地区においても札幌市に隣接し、道立野幌森林公園など自然環境にも恵まれていることから居住希望者が多いため、市で初の土地区画整理組合が設立され、健全な市街地開発が施行された。

《事業概要》

施行者	組合	公共減歩率	20.4%
施行面積	40.5ha	保留地減歩率	11.9%
施行期間	昭和43～51年度	合算減歩率	32.3%
総事業費	205,000千円	公共用地率	35.3%
設立認可	昭和43年 5月23日	都市計画道路	3.0ha (1.2km)
認可公告	昭和43年 5月28日	区画道路	10.0ha (10.6km)
仮換地指定	昭和44年12月 6日	公園・緑地	1.3ha
換地処分公告	昭和48年 5月31日	その他公共用地	0.0ha
解散認可公告	昭和51年10月12日	保留地面積	3.9ha

《区域図》

